

「出前授業」、「職場体験活動」などの職業に係る体験活動を通して、子どもたちの社会性を育む教育活動に参画することにより、未来を担う地域の「子どもたち・若者たち」の育成に貢献することができます。そして、すぐに数字に反映されなくとも、教育支援活動に取り組むことによって、目に見えない「利益」「信頼」「経験」が獲得できます。



◆職場の活性化

生徒たちを受入れることで、自分たちの職場を新鮮な目で見直すことができます。子どもたちに仕事や会社の中で果たしている役割などについて説明する中で、社員の仕事への誇りや意欲の向上につながり、社内の活性化や社員のモチベーションアップにもつながります。

◆「人から教えられるのではなく、人に教えること」が有効な社員教育になる

自分の仕事を子どもたちに伝えるためには、分かりやすく、言葉をかみくだいて説明する必要があります。生徒への指導を通して、社員が自己の業務に対する理解を深めることができます。また、新入社員等への指導の際に「職場体験活動受入れ」の経験を生かすことができます。

◆若者の意識の把握

普段なかなか知ることのできない子ども・若者の斬新な発想やアイデアに触れることで、企業活動のヒントにつながる可能性があります。

◆好循環が生まれる

職場見学をきっかけに職場がきれいになったり、社員が自分の仕事に誇りを持ったり、地域で名前が知られたり、そのような小さな積み重ねが、会社全体の活性化につながっていきます。

◆企業イメージ&知名度の上昇

教育現場において、大人が懸命に働く姿や仕事に対する思いを伝えることで、子どもから親、親から地域へと次第に話が広がっていきます。社会に貢献する企業として、必然的に会社の知名度が上がり、地域住民の信頼感につながります。

◆未来の会社と業界の振興に寄与

子どもたちに、会社の内容や取扱商品、業界についてじっくり説明する機会はめったにありません。彼らに自分たちの仕事や業界について知ってもらい、「未来の会社」のファンになってもらうチャンスになります。

◆企業が支える地域

出前授業や職場体験活動を通して、働くことの意味や大変さがわかり、子どもたちに親への感謝の気持ちが芽生えます。その結果、企業を含め地域社会全体での教育につながります。

学校とはこんなところです

企業
向け

出前授業や職場体験活動の実践において、学校の要望と受入れ企業の要望が食い違うことがしばしば見られます。その要因の一つには、お互いの理解不足があるでしょう。企業・事業所が、学校の組織や教員の勤務形態についてあらかじめ知っておくことは、教育支援活動に関わる際に非常に大切なことです。



◆学校には教育目標や計画があります。

学校は各校独自の教育目標を作成し、その下に学年・学級の目標を定め、年間の教育活動を計画しています。4月の年度はじめには、1年の計画はほとんど決まっています。

◆教員には、授業の外、校務分掌という仕事があります。

学校では「校務分掌」という業務分担があり、教員は子どもたちの生活・安全指導、進路指導、学校行事、地域との調整などの多くの業務を分担しています。

◆学校は子どもの安全を守っています。

突然の来校者・訪問者については、安全を確かめるようにしています。校門に施錠する学校や、来校者受付簿への記入を求める学校もあります。

◆学校は子どもの人権を守っています。

子どもたちや家族の情報を守っています。学校に出入りして教育支援をする場合は、子どものことで知り得たことを口外しないよう、気を付けましょう。

◆教員とはタイムリーに連絡がとれません。

教員は、授業等があるため、常に職員室にいるわけではありません。また1人1台のパソコンを持つ環境にある場合も少なく、メールでの連絡も難しいのが現状です。お互いの日常を理解し合い、最適な連絡方法などを事前に確認し合っておきましょう。

ある小学校の一日

時間	子どもたち	教員の行動
8:00~8:15	登校	出勤
8:15~8:30		職員の打合せ
8:30~8:45	朝の会	
8:45~10:20	1時間目・2時間目	
10:20~10:40	中休み(業間タイム)	休憩時間(15分)
10:40~12:15	3時間目・4時間目	
12:15~13:00	給食(準備・配膳)	給食指導
13:00~13:20	昼休み	休憩時間
13:20~13:40	掃除の時間	清掃指導
13:40~15:15	5時間目・6時間目 ※学年や曜日で異なる。	
15:15~15:30	帰りの会	
15:30~	放課後	職員会議、研修会が入る日があります。

※学校によって違いがあります。中学校、高等学校の授業時間は小学校より長くなります。

学校に連絡する際のポイント

教員の業務は、授業準備・授業、学級活動(ホームルーム)の外、学校行事、部活動やクラブ活動、児童生徒の生活指導、保護者対応等多岐にわたります。

昼は給食指導がありますので、13時~13時15分頃、放課後は、15時半過ぎが連絡の取りやすい時間帯です。

電話を、その場で担当教員に取り次ぐことができるのは、むしろまれです。職員室にいることが多い教頭か教務主任に伝言をして、担当教員から折り返し電話をかけてもらうことをお勧めします。